



TITLE:

表紙・目次・奥付

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・目次・奥付. ディアファネース -- 芸術と思想 2016, 3

ISSUE DATE:

2016-03-30

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/217011>

RIGHT:

ディアファネース

芸術と思想

京都大学大学院人間・環境学研究科
岡田温司研究室紀要

N^o. 3
2015年度

ディアファネース——芸術と思想

京都大学大学院人間・環境学研究科岡田温司研究室紀要 第三号 2015 年度

目次

【講演】

- マッシモ・レオーネ
誘惑——形態と力 5

【論文】

- 岡田温司
天使とキリスト——その隠れた関係 41
- 小川仁
慶長遣欧使節通訳兼折衝役シピオーネ・アマーティ——新出史料に見る人物像とその役割 … 63
- 河田淳
太ももの「傷」——15 世紀末イタリアにおける聖ロクス信仰の発展 83

【展評・書評】

- 秦明子
「線描」の誘惑——ボッティチェリ展、東京都美術館 105
- 井岡詩子
悪戯を隠すように——「栄光と悲惨——売春のイメージ」展、オルセー美術館 113
- 福田安佐子
さまざまな未来について——ヴェネツィア・ビエンナーレ 2015 119
- 遠藤太良
静寂な語り——ヴェネツィア・ビエンナーレ 2015 125
- 島田浩太郎
寛容なるアプシス、あるいは虹色のオイコノミア——第 14 回イスタンブール・ビエンナーレ… 129
- 喜多村明里
田口かおり『保存修復の技法と思想』..... 137
- 欧文要旨 143

【編集後記】

『ディアファネース』第三号をお届けします。講演原稿一本、論文三本、展評・書評が六本という収録内容のうち、個人的にはレオーネ先生の講演原稿の編集にとりわけ深く携わりました。「書く」という行為に際して、ともすれば軽やかに踊り出すテキストの誘惑を、押さえつけ、封じ込めて、支配しようとするフローベールの抵抗について考えると、ひるがえって自分自身がおこなっている編集という行為についても考えさせられます。他人の文章にたとえわずかでも手を加えるとき、その人が必死になって封印した魔物をふたび呼び覚ましてはいないか。あるいは戯れるような文章をむりやり型にはめてしまっていないか。他人のことばとうまく付き合うのは難しいけれども、そこがきっと編集の醍醐味なのでしょう。(M.F.)

【編集委員】

青山勝（大阪成蹊大学芸術学部）
秋庭史典（名古屋大学大学院）
上村博（京都造形芸術大学芸術学部）
岡田温司（京都大学大学院人間・環境学研究科）
金井直（信州大学人文学部）
喜多村明里（兵庫教育大学）
篠原資明（京都大学大学院人間・環境学研究科）
松原知生（西南学院大学国際文化学部）

【編集幹事】

古川萌
福間加代子
遠藤太良

ディアファネース——芸術と思想 第三号

発行日：平成 28 年 3 月 30 日

編集・発行：京都大学大学院人間・環境学研究科岡田温司研究室

〒 606-8501 京都市左京区吉田二本松町

印刷：株式会社 キクザワ

〒 602-0005 京都市上京区寺之内通り新町西入る妙願寺前町 506

Diaphanes: Art and Philosophy

Number 3

The Bulletin of Atsushi Okada Laboratory

Graduate School of Human and Environmental Studies, Kyoto University

Issued on 30 March 2016
